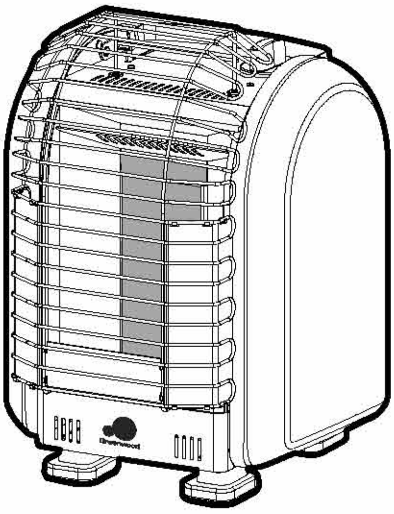
Greenwood

カセットボンベ式
# ポータブルヒーター

# 取扱説明書

## GCP-181 家庭用

保証書付



このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■グリーンウッドカセットボンベ式ポータブルヒーターを安全に正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みください。そして必要な時に読みかえしができるように必ず保管してください。裏表紙が保証書になっています。

■本商品は利便性を追求した簡易ガス器具です。過酷な使い方、特殊なご使用をされますと、やけどや火災など思わぬ事故の原因となったり、本商品の焼損のおそれがあります。本取扱説明書に記載されている内容を十分ご理解の上でご使用ください。
この機器は国内専用ですので、海外で使用しないでください。

**警告** 換気必要 1時間に1～2回

- ●圧電点火装置付
- ●圧力感知安全装置付
- ●不完全燃焼防止装置付
- ●立消え安全装置付
- ●転倒時消火装置付
- ●ヒートパネル搭載

正しく使って上手に節約

目　次　　ページ


ご使用のまえに……2
特に注意していただきたいこと……2～8
各部のなまえ……9
仕様……10
安全装置が作動した時の処置方法……10～11
正しい使いかた……11～13
日常の点検・お手入れ……13
故障・異常の見分け方と処置方法……14
このような時は故障ではありません……14～15
保管（長期間使用しない場合）……15
アフターサービス……15
お客様の個人情報のお取り扱いについて……裏表紙
保証書……裏表紙

# ご使用のまえに

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

| | |
|---|---|
| ⚠ 危険 | この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡又は重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される場合を表しています。 |
| ⚠ 警告 | この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。 |
| ⚠ 注意 | この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。 |

絵表示の意味

一般的な注意　発火注意　高温注意　必ず行う　一般的な禁止

分解禁止　接触禁止　火気禁止　換気する

# 特に注意していただきたいこと

## 1.ガス漏れ時使用厳禁（ガス漏れ時の処置）

### ⚠危 険(DANGER)

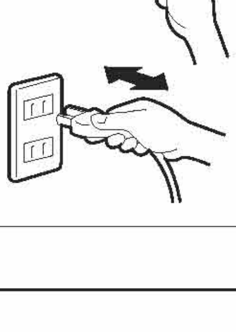
**■ガス漏れに気づいたときは**

**1.ガス漏れに気づいたときは、絶対に火をつけたり、電気器具(換気扇その他)のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を利用しない。**

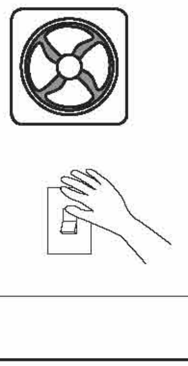
炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

**2.窓や戸を開け、ガスを外に出す。**

火をつけない。
プラグの抜き差しをしない。



電気器具(換気扇その他)のスイッチの「入・切」をしない



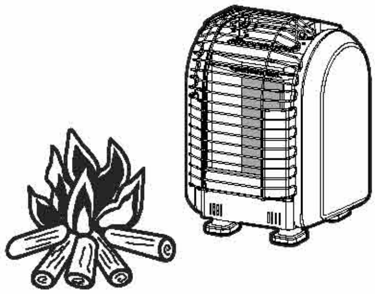
## 2.容器（ボンベ）の過熱注意

### ⚠警告(WARNING)

下記のような使い方は容器(ボンベ)が過熱し、爆発の原因となりますので、絶対にしないでください

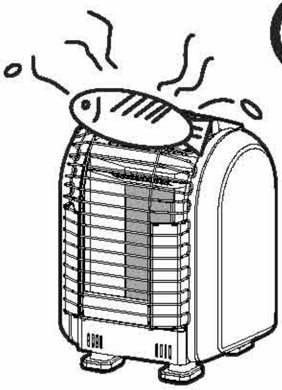
### ■火気の近くには置かない

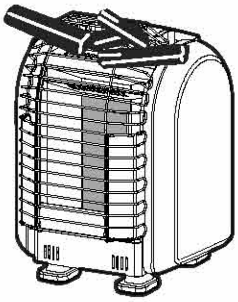
火気からの輻射熱により、容器(ボンベ)が爆発するおそれがあります。



### ■暖房以外の用途には使用しない

過熱や異常燃焼により、機器の焼損や火災、容器(ボンベ)の爆発のおそれがあります。

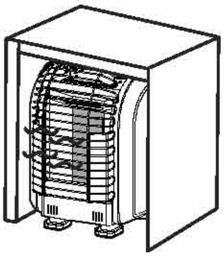




●この機器は暖房専用です。調理に使用したり、木炭の火起こしなどには絶対に使用しないでください。

### ■周囲を囲って使用しない

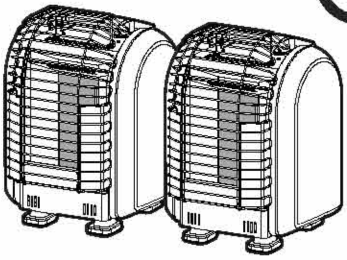
容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。



●市販の風防や天ぷらガード、岩などで囲んで使用したり、前面や上面を覆うようなことは絶対にしないでください。

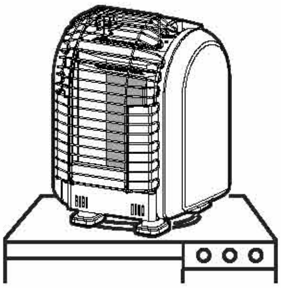
### ■2台以上ならべて使用しない

機器内に熱がこもり、容器(ボンベ)が過熱して爆発するおそれがあります。



### ■電磁(IH)調理器・電熱器など熱を発生する器具の上では使用しない

間違って電源等が入ると、容器(ボンベ)が過熱され爆発するおそれがあります。



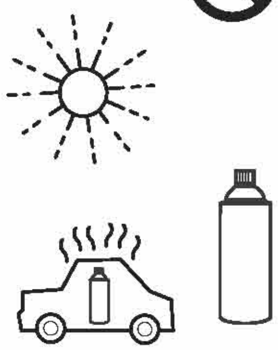
## 3.使用容器（ボンベ）とその取扱いについて

# ⚠警 告(WARNING)

### ■熱気のあたる場所に放置しない

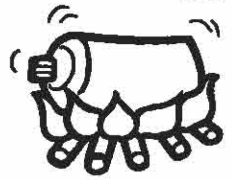
容器(ボンベ)はファンヒーターやオーブントースターなど、熱気の発生させる器具の周囲や熱気のあたる場所には放置しないでください。熱で容器(ボンベ)の圧力が上がり爆発の原因となります。

### ■火気や直射日光を避ける



火気や直射日光、室内や車内の窓際などを避け、風通しが良く湿気の少ない40℃以下の場所にキャップをして保管してください。塩分のある場所や冷蔵庫も避けてください。機器内に容器(ボンベ)を入れたままで絶対に持ち運びしないでください。

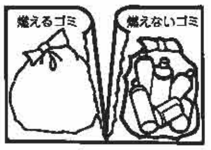
### ■容器(ボンベ)を火の中に入れない



過熱、爆発し大きな事故になります。燃えるゴミに混入すると危険です。

### ■容器(ボンベ)はガスを使い切ってから廃棄する

1. 容器(ボンベ)を振ってサラサラと音がする時は、まだガスが残っています。必ず完全に使い切るか、火の気のない風通しのよい所でステム(先端)を押しつけて残りのガスを抜いてください。




2. 完全に使い終わってから他のゴミと区分し、地域の取り決めにしたがって分別廃棄してください。

# ⚠注 意(CAUTION)

### ■専用の容器(ボンベ)を使う

容器(ボンベ)は、「クッキングファイヤー」の表示のある専用容器(ボンベ)を使用してください。
他の容器(ボンベ)を使用すると、ガス漏れなどの原因および正常な使用ができない場合があります。

### ■容器(ボンベ)のガスを故意に吸い込まない

人体に害を与えることがあります。

### ■落下させるような場所で容器(ボンベ)を保管しない

落下による破損やガス漏れによる引火のおそれがあります。

### ■容器(ボンベ)に強い衝撃を与えない 変形のある容器(ボンベ)は使用しない

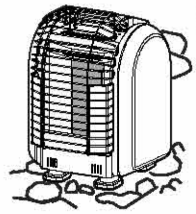
## お 願 い

- ●容器(ボンベ)に表示されている注意事項を必ずお読みください。
- ●使用時は容器キャップをはずし、保管の時は容器キャップを押し込むだけにしてください。
- ●保管している容器(ボンベ)は、ときどき点検してさびが発生している時は、ガス漏れがないことを確認して、できるだけ早く使い切ってください。
- ●使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめてください。

# 4.使用場所

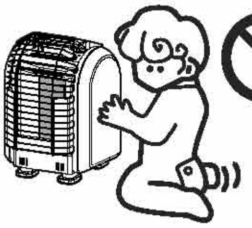
## ⚠警告(WARNING)

### ■足場の悪い場所で使用しない



転倒によるやけどや、異常燃焼による容器の爆発のおそれがあり危険です。必ず水平で足場の安定した場所でご使用ください。

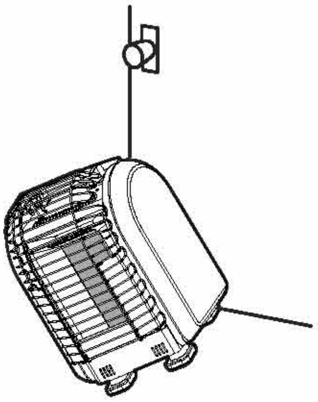
### ■幼児の手の届くところでは使用しない



子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しないでください。やけどや火災事故のおそれがあります。

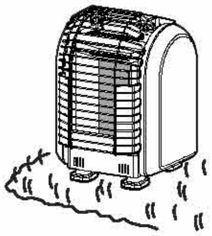
### ■ドアの近くなどに置かない

機器の転倒ややけどなどのおそれがあり危険です。



## ⚠注意(CAUTION)

### ■毛足の長いじゅうたんの上に置く場合は機器の下にじょうぶで不燃性の敷き板などを敷いて水平にする



じかにじゅうたんの上に置くとじゅうたんが変色することがあります。熱に弱い床には敷き板などを敷いてご使用ください。

### ■電気カーペット、温水マットの上には設置しない

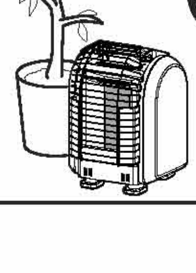
機器の重みで電気カーペット・温水マットが故障する場合があります。

### ■ペットの暖房用に使用しない

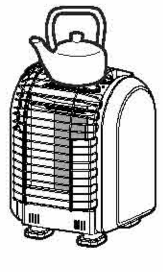
ペットが機器を傷め火災の原因となります。

### ■乾燥室・温室・動植物の飼育室など、特殊な場所では絶対に使用しない

植物が枯れたり動物が死亡するおそれがあります。

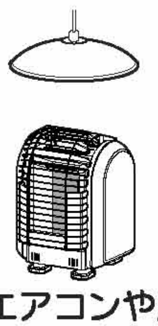


### ■水のかかる場所に設置しない。また、ガードの上になべややかんなどを乗せない



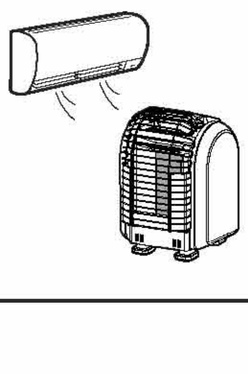
お湯がこぼれて消火したり、機器の異常過熱や落下してやけどの原因になります。

### ■樹脂製の照明器具の下で使用しない



照明器具のかさなどが変形することがあります。

### ■エアコンや扇風機などの風を機器に当てない



風により消火したり、異常燃焼の原因になります。

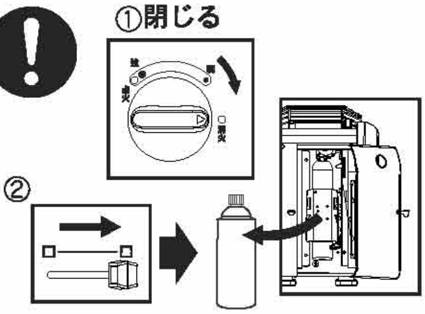
## 5.火災事故、ガス事故防止のために

# ⚠警告(WARNING)

### ■ガス漏れに気がついたら、すぐに火を消す

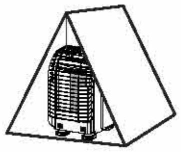
ガスが漏れるとガスのにおい(くさった玉ねぎのようなにおい)がします。ブタンガスは空気より重く下部にたまります。火気など引火の原因となるものは使用をしないですぐに次の処置を行ってください。

1.直ちに火を止める。(器具せんつまみを「消火」方向の止まる位置まで回す)
2.容器(ボンベ)をはずす。(容器セットレバーを「脱」方向の止まる位置まで動かし、容器(ボンベ)をボンベ装着部から取外します)
3.窓や戸を開けてガスを外に出す



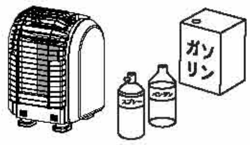

### ■狭い場所や換気の悪い場所では使用しない

テント内、車内、トイレ、浴室など狭い場所や換気の悪い場所では、絶対に使用しないでください。換気が悪いと酸欠により、窒息死や一酸化炭素中毒死になるおそれがあります。



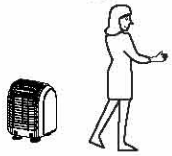
### ■使用場所の周囲には、引火物や可燃物を置かない

機器の使用中は、周囲にガソリンなどの引火物や予備の容器(ボンベ)やスプレー缶を放置しないでください。引火や過熱により爆発のおそれがあります。



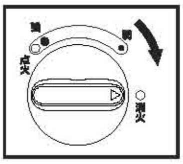

### ■火をつけたまま機器から離れない

火をつけたままその場を離れたり、眠り込んだりしないでください。可燃物への引火などにより思わぬ事故の原因となります。必ず火を消してから離れるようにしてください。電話や来客などの場合も、いったん火を消してください。



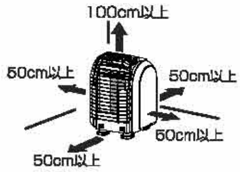
### ■容器(ボンベ)がセットされていて、着火していないのに器具せんつまみが「消火」以外の位置にあると、ガス漏れをおこし危険

使用しないときは必ず器具せんつまみを「消火」の位置にしてください。



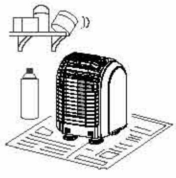
### ■家具や壁など可燃物から右記以上離して使用する

壁などが熱せられ火災のおそれがあります。



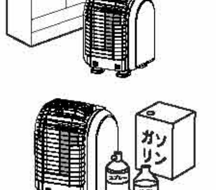

### ■室内の次のような場所では使用しない。

●物が落ちるおそれがある場所
●新聞紙や段ボールなど燃えやすい物の上
●ガソリンなどの引火物やスプレー缶のそば
●熱に弱い床には敷き板などを敷いてご使用ください



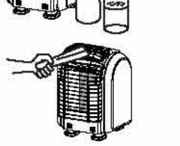
### ■燃えやすいものを近くに置かない

機器の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。また可燃物(家具・カーテン・洗濯物など)を機器に近づけないでください。火災の原因になります。



### ■引火のおそれのあるものを使用しない

機器の周囲では、予備の容器(ボンベ)・スプレー・ガソリン・ベンジン・塗料など引火のおそれのあるものを置いたり、使用したりしないでください。引火して火災のおそれがあります。




### ■機器にはものを入れない

機器の中に紙、布、異物などを入れたりふさいだりしないでください。不完全燃焼や火災の原因になります。

### ■使用中メインバーナー付近に手や顔を近づけない

炎によりやけどのおそれがあります。

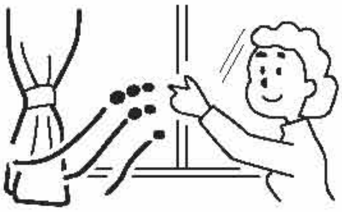
# ⚠警 告(WARNING)

## ■ガス漏れ

万一、ガス漏れが起こった場合は危険ですので使用しないでください。引火によるやけどのおそれがあります。

## ■必ず換気する

●使用中は1時間に1~2回(1~2分)程度換気扇を回すか、窓を開けるなどして換気する。

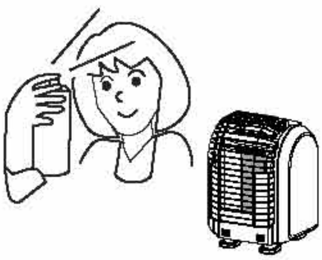


換気をしないと一酸化炭素中毒を起こし、死亡事故にいたるおそれがあります。換気は2カ所以上の(風の出入りのある)開口部を設けると効率よくできます。換気扇を使用する場合でも換気扇から離れた位置の窓を開けないと十分な換気ができない場合があります。

●換気ができない場所では使用しない。

窓が凍結する場所や地下室など、換気ができない場所では使用しないでください。一酸化炭素中毒を起こし、死亡事故にいたるおそれがあります。

## ■ヘアスプレーなどを近くで使用しない



機器を使用中に、周囲でヘアースプレーなど引火性のあるものを使用しないでください。引火による爆発のおそれがあります。

## ■スプレーや化学薬品を使用する場所では使わない

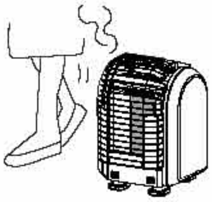
●スプレーや化学薬品を使用する場所および綿ぼこりの多い場所(理・美容院や、メッキ・塗装工場など)では使用しない。

フロンガスや塩素系溶剤は、腐食性ガスの発生により金属がさびたり、刺激臭や異臭がする原因になります。また健康を害したり、機器故障の原因になります。

## ■ガードを外したままで使用しない

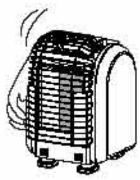
やけどや火災のおそれがあります。

## ■使用中は機器に近付かない



メインバーナーの前面や上面は高温になっています。近付きすぎますとやけどや衣類への引火のおそれがあります。

## ■使用中は動かさない

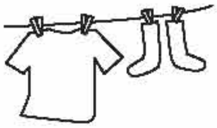


使用中に機器を動かしますと、液状ガスが機器に流れ込み、炎が大きくなる異常燃焼を起こします。

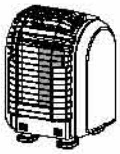
## ■着火の確認、燃焼状態の確認

点火時、使用中はメインバーナーを上から覗き込まないでください。炎によりやけどのおそれがあります。

## ■衣類などの乾燥に使用しない



燃え移ったりして火災のおそれがあります。



## ■改造はしない修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない

改造はしないでください。改造や分解をしたりしますと事故の原因となるおそれがあります。

## ■再点火の際はガスのニオイがなくなったことを確認してから行う

●溜まったガスに引火することがあります。

## ■使用後は容器(ボンベ)を取り外す

使用後は火災防止のため、容器(ボンベ)を必ず機器から取り外し、必ずキャップをして保管してください。セットしたまま保管すると、何らかの原因で器具せんつまみが回った場合、着火して危険です。

# ⚠注 意(CAUTION)

■容器(ボンベ)の着脱は、風通しの良い、火気のない場所で行ってください。

■お子さまの手の届くところには置かないでください。

大人の監視がゆきとどかない場所、あるいはお子様しかいない場所では使用しないでください。

■使用後は、湿気の少ない場所に箱または袋に入れて保管してください。そのまま放置していますと虫や綿ぼこり等がガス通路に入り込み、異常燃焼や着火不良の原因となります。

■使用中、消火直後の機器は高温になっています。十分冷えるまで金属部分(特にガードや天板付近)に触れないでください。

■使用中および使用後しばらくは、器具せんつまみ以外は高温になっているので手を触れないでください。やけどや衣服への着火のおそれがあります。

■機器の上に腰かけたり、乗ったりしないでください。落下、転倒などにより、ケガの原因になることがあります。また、機器の故障ややけどのおそれがあります。

■低温やけどに注意してください。

機器の近くでうたた寝をするなど、長時間無意識に熱気に当たり続けないでください。

■熱気を長時間、直接体に当てないでください。

体調悪化や健康障害、低温やけどの原因になります。

■使用時以外は、つまみを「消火」方向に止まるまで回して、器具せんを締め、消火したことを確かめてください。

■炎を小さくしすぎると、風で吹き消されることがあります。

■強い風の吹き込む所では使用しないでください。炎が風で消えたり、異常燃焼の原因になります。

■この機器は海抜1000mまで使用できます。1000m以上で使用すると、点火不良などの原因になります。

■この機器は一般家庭用製品ですので、業務用のような使い方をされますと機器の寿命が著しく短くなります。

■この機器は気密の高い部屋などでは、壁や天井が結露する場合があります。必ず換気してください。

■長時間使用しないときは、必ず容器(ボンベ)をはずしてください。

■ご使用の有無にかかわらず、古くなった機器は安全のため、ご使用前に点検修理をご依頼ください。

■異常時の処理

万一異常燃焼したときや、地震や火災など緊急の場合はあわてずに器具せんつまみを「消火」にし、容器セットレバーを「脱」にして、容器(ボンベ)を安全装置から取り外してください。「故障・異常の見分け方と処置方法」14ページを参照し、処置してください。

## お 願 い

●雨など水のかかる場所や、塩気のある場所では使用しないでください。点火不良、さびの原因となります。

●点火、消火時のほか、使用中には正常に燃えているかときどき確認してください。

万一容器(ボンベ)が過熱し内部の圧力が上昇した場合は圧力感知安全装置が働き、自動的に火が消えますので次のような処置をしてください。

(1) 器具せんつまみを「消火」の位置に戻し、容器セットレバーを「脱」の位置にして、容器(ボンベ)を取り出してください。

(2) 容器(ボンベ)の温度が上がった原因を取り除いてから再使用してください。
容器(ボンベ)の温度が高いうちは、圧力感知安全装置が働いて、点火することはできません。容器(ボンベ)は必ず冷やすか、別の容器(ボンベ)を使用してください。

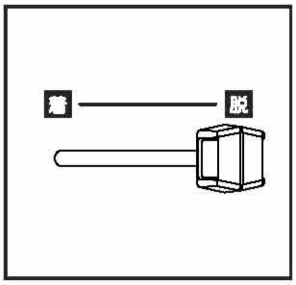
(3) リセットボタンを押してリセットしてください。 (10ページ参照)

(4) ガス残量20g以下(0℃時のときの場合 )パイロットバーナーの燃焼の影響で少し赤火になります。これは機器の異常ではありません。新しい容器(ボンベ)に取りかえるか、熱量が弱いことを前提として、最後までお使いください。

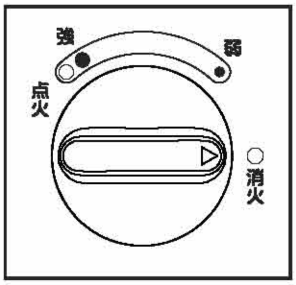
# 各部のなまえ

## 外　観

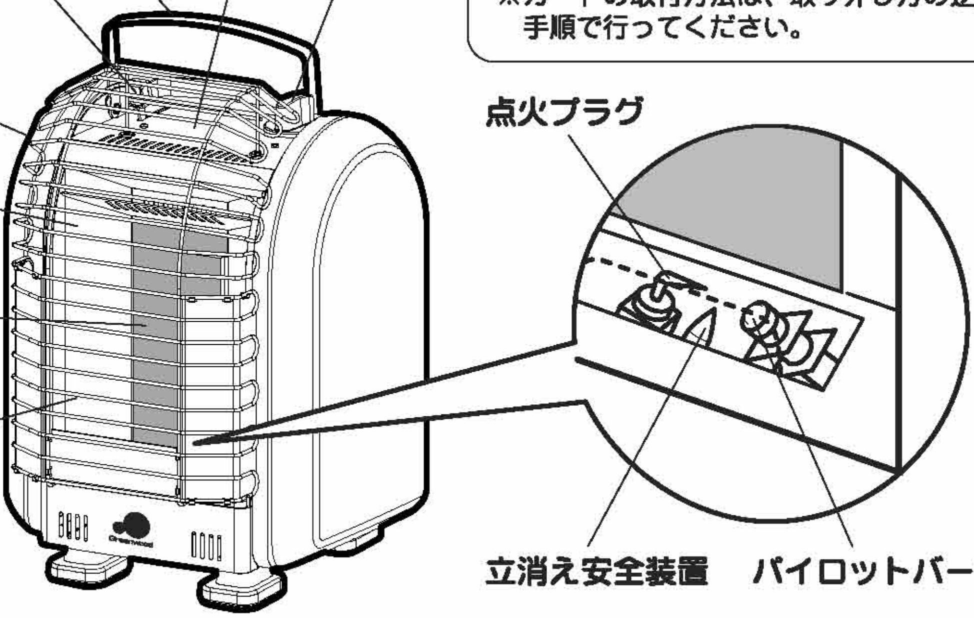
### 操作部




容器セットレバー

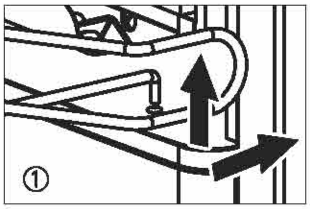



器具せんつまみ

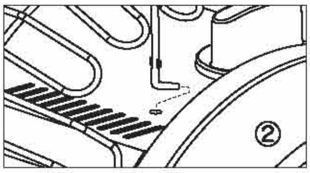



### ガードの取り外し方

①反射板下の穴から奥へ押して上方向にガードを引き出す。




②ガード下部を手前に持ち上げながら、上方向にガードを引き抜く

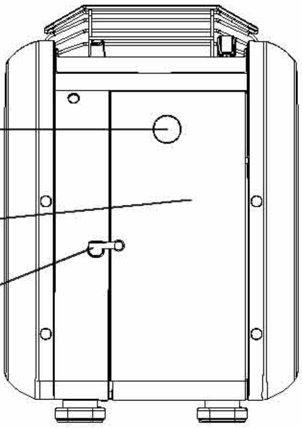



※ガードの取付方法は、取り外し方の逆の手順で行ってください。

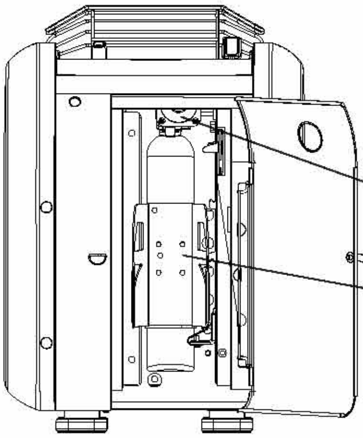
## うしろ側

（ボンベ装着部）

（閉じた状態）




（開いた状態）




### 不完全燃焼防止装置付

お部屋の酸素不足などによる不完全燃焼を防ぐ安全装置です。自動的に消火します。

### 立消え安全装置付

ご使用中に炎が消えてしまったときにガスを止め、生ガスの放出を防止します。

### 転倒時消火装置付

機器が倒れたり、強い衝撃が加わったとき、自動的に消火し事故を防ぐ安全装置です。

# 仕様

| | |
|---|---|
| 製品名 | グリーンウッドカセットボンベ式ポータブルヒーター |
| 形式の呼び | GCP-181 |
| 点火方式 | 圧電点火式 |
| 発熱量 | 1.8kW（1600kcal／h） |
| 外形寸法 | 幅265×奥行255×高さ375（mm）（使用時） |
| 質量（本体） | 約3.7kg　容器（ボンベ）を除く |
| 使用ガス | ブタンガス |
| 出力(ガス消費量) | 1.8kW（1600kcal／h）131g／h　＊1 |
| 連続燃焼時間 | 約１時間55分　＊2 |
| 安全装置 | 圧力感知安全装置（閉止型）、立消え安全装置、転倒時消火装置<br>不完全燃焼防止装置 |
| 標準適室(暖房のめやす) | 約７畳（温暖地を基準としています） |
| 使用容器(ボンベ) | クッキングファイヤー |

＊1：気温20～25℃時、最大火力で使用したときの30分間実測値を1時間の消費量に換算
＊2：気温20～25℃時、最大火力で使用したときの目安時間

# 安全装置が作動したときの処置方法

**使用中にバーナーが消火したときは、すぐに器具せんつまみを消火の状態に戻してガスを止め、安全装置が作動していないか調べてください。**

## 圧力感知安全装置が作動した場合は

**●ヒーター全体を覆ったり、外気温の高い場所で使用したり、極端に狭い場所で長時間使用すると、容器(ボンベ)の温度が異常に上昇し、圧力感知安全装置が働いて途中で消えることがあります。**

このようなときには、「特に注意していただきたいこと」の項(2～8ページ)を見ていただき、その原因を取り除いてから次の要領でリセットしてください。

### 圧力感知安全装置のリセットのしかた

①器具せんつまみを「消火」の位置にしてください。

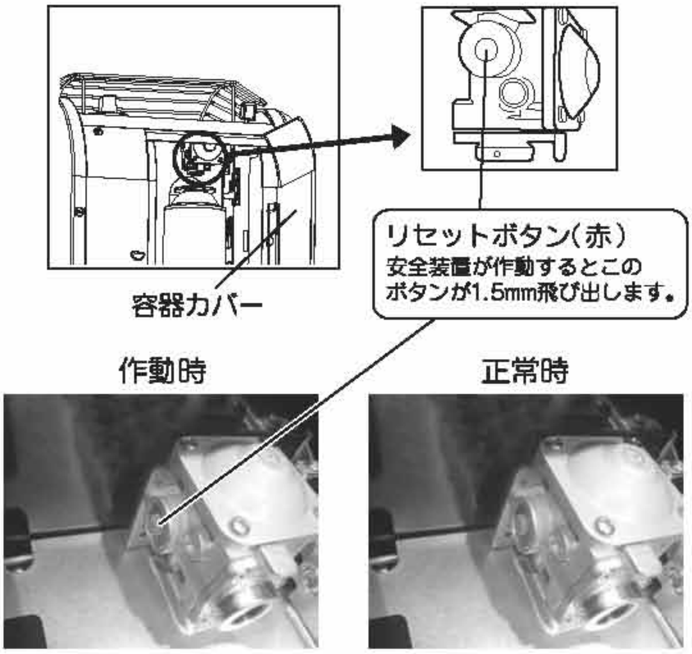
②容器セットレバーを「脱」にして容器(ボンベ)を安全装置から取り外してください。

③図１の容器カバーを開けて圧力感知安全装置のリセットボタンを棒状のもので押したり、10円玉などのコインをリセットボタンに当てて指で押してリセットしてください。

④予備の容器(ボンベ)をセットしてください。予備の容器(ボンベ)がない場合には、外した容器(ボンベ)が冷えてからお使いください。

⑤点検後、再点火してください。

図1



### 立消え安全装置が作動した場合は

●**強い風が吹いたときなど、使用中に炎が消えてしまったときに立消え安全装置が働き、途中でガスを止め消えることがあります。**

このようなときには、点検後再点火してください。

### 不完全燃焼防止装置が作動した場合は

●**室内で換気不十分な状態で使用したり、バーナーの空気口にほこりが詰まっていたりするときなどに、不完全燃焼する前に不完全燃焼防止装置が働いて途中で消えることがあります。**

一酸化炭素中毒を起こし、死亡事故にいたるおそれがありますので、十分にお部屋の換気を行ってから、再点火してください。

### 転倒時消火装置が作動した場合は

●**機器が倒れたり、強い衝撃が加わったときなどに、転倒時消火装置が働いて消えることがあります。**

いったん器具せんつまみを「消火」にし、1分程待ってから再点火してください。すぐに点火しますと、転倒時消火装置が作動しているため、ガスが流れず点火しません。

**お 願 い**

●**安全装置が作動した後、点検して再点火してもたびたび同じような作動を繰り返すような場合は、お買い上げの販売店、または当社お客様相談室にご連絡ください。**

# 正しい使いかた

| | |
|---|---|
| ⚠警　告 | ●故障または破損したと思われるものは絶対に使用しないでください。<br>●容器(ボンベ)を確実に装着しないとガスが漏れて火災の原因となります。<br>●容器(ボンベ)をセットしても「シュー」と音がしてガスの臭気がする場合には、完全に装着されていません。もう一度よく注意して取付け直してください。装着が不充分な状態で使用すると火傷や事故の原因になります。<br>●「シュー」と音がしてガス漏れが止まらない時には使用しないで、点検修理を依頼してください。漏れたガスを完全に追い出すまでは、絶対に火気、電気器具は使用しないでください。 |

| | |
|---|---|
| ⚠注　意 | ●無理な力でセットレバーを動かさないでください。必ず容器受けガイドの凸部と容器(ボンベ)の切り込みの位置が合っていることを確認してください。<br>●未点火の状態で器具せんつまみを「消火」以外の位置にしておくと生ガスが出て危険です。<br>●容器(ボンベ)が冷えていますと火力低下を起こします。40℃以下の暖かい場所で保管した、できるだけ新しい容器(ボンベ)をご使用ください。 |

### ■設置場所(使用場所)及び周囲の防火処置

●テント内、車内、トイレ、浴室など密閉された場所では使用しないでください。

●引火物、可燃物が周囲にある場所では火災のおそれがありますので使用しないでください。

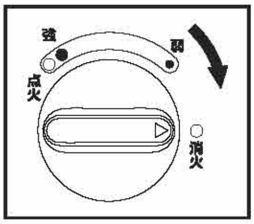
●強い風の吹き込む場所や、出入口など人の通る場所では使用しないでください。

●水平な場所で使用してください。振動の激しい場所では使用しないでください。

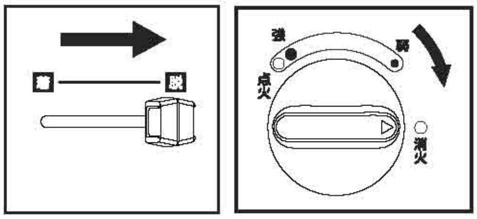
●他のヒーター、ストーブなど大きな熱源のそばでは使用しないでください。火元の熱でボンベが過熱され、爆発のおそれがあります。

## ■容器(ボンベ)の取付け方

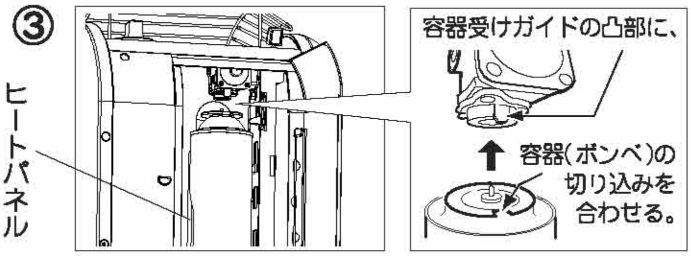
①器具せんつまみを「消火」方向に止まるまで回して器具せんを閉じる。

①


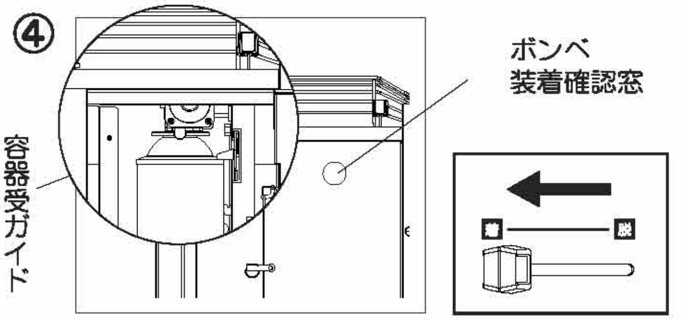

②容器セットレバーを「脱」の位置に合わせる。

②



③容器カバーを開け、容器(ボンベ)の切り込みを手前側にしてヒートパネルに取り付ける。

③



④容器(ボンベ)の切り込みを容器受けガイドの凸部に合わせ、容器(ボンベ)を奥に押しながら容器セットレバーを矢印方向の「着」側の止まる位置までスライドさせて容器(ボンベ)を固定します。

④



⑤点火する前に、必ず容器カバーを閉め容器カバーフックを掛けてください。

| | |
|---|---|
| ⚠警 告 | ●トッテがガード側に倒れた状態で使用するとトッテが高温になり、やけどをするおそれがあります。必ず、トッテをうしろ側に倒した状態で使用してください。<br>●顔や手が機器にかぶさるような点火操作をしないでください。点火をするときは、必ず機器の側面や背面側から手をのばし、点火してください。やけどをするおそれがあります。<br>●点火時や使用時にメインバーナーを上から覗き込まないでください。メインバーナーからの炎で火傷をするおそれがあります。<br>●使用時に機器を動かしますと異常燃焼で炎が大きくなり危険です。<br>●使用中はメインバーナーの前方から50cmおよび上方では100cm以内に近付かないようにしてください。メインバーナーからの放射熱や炎でやけどをするおそれがあります。<br>●使い始めのときや、容器(ボンベ)の温度が高いときには、一度では点火しにくい場合があります。消火位置まで一度戻してから、あらためて点火操作を繰り返してください。 |

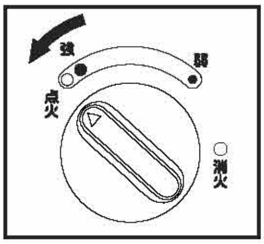
| | |
|---|---|
| ⚠注 意 | ●器具せんつまみを早く回すとパイロットバーナーがリフティング(異常燃焼)する場合があります。器具せんつまみをゆっくり回して火力を調節してください。<br>●使用中や消火後しばらくは機器が熱くなります。手を触れないでください。<br>●万一、逆火(異常な燃焼音)が発生したときは、すぐに器具せんつまみを「消火」に戻し、しばらくしてから再度点火をしてください。<br>●点火しなかったり、器具せんつまみから手を離したときバーナーの火が消える場合は、すぐ器具せんつまみを一旦「消火」の位置に戻してから改めて点火操作をくり返してください。 |

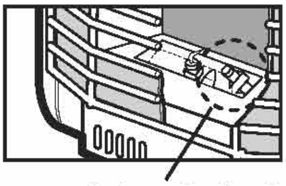
## 1.点火する

①器具せんつまみを点火の方向へ回します。
器具せんつまみを途中で止めずに、点火の方向へゆっくりいっぱいに回します。「カチッ」と音がして点火します。点火を確認してから器具せんつまみを5秒間ほど回した状態を保持してください。それから器具せんつまみより手を離してください。手を離すと少し戻り「強」の状態になります。
一度でつかない場合は、再度くりかえしてください。点火しないまま、器具せんつまみを回し点火の位置にしたままにしておくと生ガスがでて危険です。点火したかどうかを必ず確認してください。

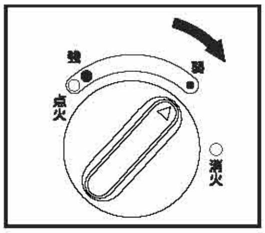
②バーナーの着火(バーナー表面が赤熱します)を確かめてください。

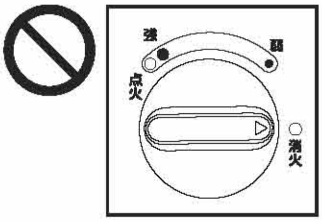
③器具せんつまみを「弱」方向まで回すと、「カチッ」と音がします。



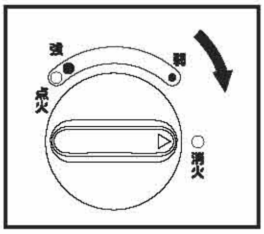
パイロットバーナー
（使用中は燃焼しています）




●「強」か「弱」のどちらかの位置でご使用ください。

●「弱」以下で使用すると、メインバーナーの表面が赤熱してしない状態となり、ポコポコ音が発生する場合があります。不完全燃焼を起こすおそれがありますのでおやめください。




## 2.消火する

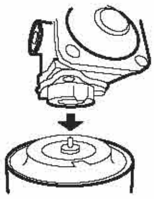
①器具せんつまみを「消火」の止まる位置まで回し、火を消してください。

●必ず消火したことを確認してください。

## 3.容器(ボンベ)の取外し

①容器セットレバーを「脱」の位置にして、容器(ボンベ)の取付けと逆の手順で、容器(ボンベ)を取外してください。

②容器(ボンベ)をはずしたあと、点火操作をしてガス通路内に残っているガスを燃やしきってください。



容器セットレバーを「脱」にしてから容器(ボンベ)を取外す。

(ご注意)

●点火初期にバーナー上下の赤熱状態が違うことがありますが、数分後にほぼ同一になります。
●点火初期に数分間燃焼音(ブーブー音)がする場合がありますが異常ではありません。
●点火時や消火時に金属の伸縮音(ピチピチ音)がすることがありますが異常ではありません。
●常時燃焼型パイロットバーナーを採用していますので、機器をご使用中はパイロットバーナーが燃焼し続け消火しません。
●はじめて使用されたとき、煙やにおいが出る場合がありますが、部品に付着した油などが焼けるためで異常ではありません。しばらく換気しながらご使用ください。

# 日常の点検・お手入れ

| ⚠注　意 | ●日常の点検･お手入れを必ず行ってください。故障または破損と思われるものは使用しないでください。<br>●点検･お手入れの際には、必ず容器(ボンベ)を取りはずしてください。<br>●点検･お手入れは機器が完全に冷えてからおこなってください。<br>●安全装置、ガスの通路部分、バーナー部などは、絶対に分解しないでください。 |
|---|---|

| 点　検 | 手入れの方法 | ご　注　意 |
|---|---|---|
| メインバーナーのヒビ割れ、破損 | 修理を依頼して部品を交換してください。<br>弊社、お客様相談室にご連絡ください。 | 異常燃焼、不完全燃焼の原因となります。 |
| パイロットバーナー、メインバーナーの汚れや詰まり | ブラシなどで汚れを取り除いてください。作業の際に点火プラグを動かしたり、パイロットバーナーの金属メッシュを変形させないようにご注意ください。 | 不完全燃焼や炎の不揃いの原因となります。常にきれいにしておいてください。 |
| 機器･反射板の汚れ | 乾いた布でよく拭いてください。汚れのとれにくいときは、中性洗剤で汚れを落とし、乾いた布で十分水気をとってください。 | 汚れを放置するとさび、故障の原因となります。常にきれいにしておいてください。 |
| 点火プラグの汚れ | 汚れや水分を取り除き、よく乾かしてください。 | 電極付近に汚れや水分が付着しますと漏電により、点火不良を起こします。 |

# 故障・異常の見分け方と処置方法

| 現象<br>原因 | 点火しない(しにくい) | 火力が弱い | 火力調節ができない | 炎が安定しない黄炎で燃える | ボンベが装着できない | ガスの臭いがする | 使用中に消火した | 消火しない | 処置方法 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ガスが少なくなっている | ● | ● | | | | | ● | | 新しい容器(ボンベ)に取替える | |
| パイロットバーナー、メインバーナーの汚れ | ● | ● | | ● | | | | | ブラシ等で詰まりを取り除く | |
| ノズルのつまり | ● | ● | | ● | | | ● | | 点検修理を依頼する | |
| 器具せんつまみの故障 | ● | | ● | | | ● | | ● | 点検修理を依頼する | |
| 器具せんつまみが全開になっていない | | ● | | | | | | | 器具せんつまみを全開にする | 13 |
| 圧力感知安全装置の故障 | ● | | | | | | ● | | 点検修理を依頼する | |
| 圧力感知安全装置の作動 | ● | | | | | | ● | | 原因を取り除きリセットする | 10 |
| 立消え安全装置の作動 | | | | | | | ● | | 点検後再点火してください | 11 |
| 不完全燃焼防止装置の作動 | | | | | | | ● | | 十分にお部屋の換気を行ってから、再点火してください | 11 |
| 電極の汚れ、位置のずれ | ● | | | | | | | | 汚れを取り除き、電極の位置を合わせる | |
| 専用容器(ボンベ)を使っていない | ● | ● | | | ● | ● | | | 専用容器(ボンベ)を使用する | 4 |

# このような時は故障ではありません

次のような現象が起こりましたら、原因を除いて適正にご使用ください。

| 現　象 | 処置方法 | 原　因 |
|---|---|---|
| ガスが出ず点火ができない | 安全装置を調べる | 使用中に周囲温度が高く(25℃以上)になると容器(ボンベ)の温度が上がります。このため使用中や消火直後に安全装置が作動し、ガスの供給を止めてしまう場合があります。10~11ページの「安全装置が作動したときの処置方法」を参考に安全装置をリセットしてください。 |
| メインバーナーから「ボッボッボッ」と少し音がする | しばらく燃焼を続ける | 点火直後はメインバーナーから音がする場合がありますが、5~10分ほど燃焼を続けると、各部の温度が安定して音が弱まってきます。 |
| 寒冷時に点火をすると火力が弱い | 暖かい場所で保管していた新しい容器(ボンベ)と交換する | 容器(ボンベ)の温度が10℃以下の場合は、点火直後から火力が弱くなる場合があります。 |
| 寒冷時に使用すると容器(ボンベ)のガスが残る | 容器(ボンベ)を温める | 気温が低いときは(10℃以下の場合)、容器(ボンベ)内で液体ガスが気化しにくくなります。<br>40℃以下の暖かい場所で保管した新しい容器(ボンベ)を使用ください。また容器(ボンベ)の温度が極端に低い場合は点火しないか、点火してもすぐに消えてしまう場合がありますのでご注意ください。 |

| | | |
|---|---|---|
| 寒冷時に連続使用すると火力が弱くなる | 容器(ボンベ)を交換する | この機器には容器(ボンベ)を加温するヒートパネルを内蔵していますが、容器(ボンベ)のガスの量が少なくなったり、周辺温度が低い場合には火力低下を起こす場合があります。40℃以下の暖かい場所で保管した容器(ボンベ)と交換してご使用ください。また、消火後容器(ボンベ)が完全に冷えてしまうと再着火がしにくくなる場合があります。 |
| | ヒートパネルを調べる | 容器(ボンベ)とヒートパネルの間に隙間ができると容器(ボンベ)の加温効果が低下します。ヒートパネルの間隔を狭めるなどして容器(ボンベ)と密着するように調節してください。 |
| パイロットバーナーから長い赤炎がでる | 容器(ボンベ)を交換する | ガスの残量が少なくなった時など、火力が低下しますとパイロットバーナーから長い赤火が出ることがあります。このようなときは、器具せんつまみを弱にしてそのままお使いいただくか、40℃以下の暖かい場所で保管した新しい容器(ボンベ)と交換してください。 |
| 点火操作をしても火花が飛ばない | 点火棒(ガスマッチ)で点火する | 機器を湿気の高い場所や雨、霧があたる場所に置きますと、電極付近に水分が付着して漏電により点火不良を起こします。電極付近に水分や汚れが付着しないように、置き場所にはご注意ください。 |

ガードについて
この製品は、小型で高カロリーの設計のため、使用時にガードが変色する場合がありますが、異常ではありません。

ご注意 ●器具せんつまみを「消火」方向に回して火力を弱くするとパイロットバーナーの炎が大きくなったり、燃焼音が大きくなりますが異常ではありません。(容器(ボンベ)のガス残量が少ないときも同じ現象が起こる場合があります)

# 保管（長期間使用しない場合）

- ●容器(ボンベ)を必ず機器から取はずし、そのままで点火操作をし、ガス通路の内部に残っているガスを燃やしきってください。
- ●機器などが汚れていないか、よく乾いているか確認してください。
- ●機器の各部が冷えてから、各部の汚れやほこりを布でふきとり、収納箱または袋に入れ、湿気の少ない場所に保管してください。
- ●取外した容器(ボンベ)は、容器キャップをして、風通しがよく、湿気の少ない40℃以下の場所に保管してください。
- ●保管してある容器(ボンベ)は時々点検して、さびたりしないように手入れを行ってください。

ご注意 機器に容器(ボンベ)をセットまたは、入れたままの状態で保管することは絶対にしないでください。必ず別々に保管してください。

# アフターサービス

## ■サービス(点検・修理)を依頼される前に

(1)14ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見て、一度ご確認ください。
(2)ご確認の上で、それでも不具合がある場合、あるいは不明な場合は、自分で修理なさらないで、お買上げの販売店、またはお客様相談室にお問合わせください。
(3)保証書に記載されている無料修理規定以外は、有償となります。

## ■補修用性能部品の最低保有期間について

- ●補修用性能部品の最低保有期間は、当製品の製造打切後6年間となっています。
- ●補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

容器(ボンベ)のお求めは

容器(ボンベ)はクッキングファイヤーとご指定の上、お買い求めください。

**アフターサービスをお申し込みになるときは**
**お買い求めの販売店、またはお客様相談室にお問合わせください。**

# お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

＜利用目的＞
お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。尚、この目的のために当社（（株）グリーンウッド）及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞
上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

販売店様へのお願い　下の保証書に必要事項をご記入のうえ、お客様にお渡しください。

## カセットボンベ式 ポータブルヒーター保証書

**持込修理**

本書は、本書記載内容で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
お買上げ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認いただき、記入のない場合はお買上げの販売店にお申し出ください。
本書は、再発行いたしませんので、たいせつに保管してください。

1. 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合にはお買上げの販売店が無料修理いたします。
   ただし、離島およびこれに準ずる遠隔地への出張修理は、出張に要する実費をいただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、製品と本書をご持参、ご提示の上、お買上げの販売店にご依頼ください。
3. ご転居の場合は事前にお買上げの販売店にお問い合わせください。
4. ご贈答などで本書に記入してあるお買上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、弊社へお問い合わせください。
5. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
   イ．使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   ロ．お買上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   ハ．火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   ニ．業務用としての使用、車両・船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
   ホ．本書の提示がない場合。
   ヘ．本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   ト．仕様変更など。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。（Effective only in Japan.）
7. 本書は再発行いたしませんので、たいせつに保管してください。

●この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきまして、ご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。
●保証期間経過後の修理または補修用性能部品について、くわしくはアフターサービスの項をご覧ください。

株式会社グリーンウッド

| 型式の呼び |
|---|
| GCP−181 |
| 保証期間 |
| お買上げ日　　年　　月　　日より |
| 本体お買い上げ日から１年間 |

| お客様 |
|---|
| ふりがな<br>お名前　　　　様 |
| 〒<br>ご住所 |
| TEL |

| 取扱販売店 |
|---|
| 店名・住所・電話番号　　　㊞ |

## 故障・修理の際の連絡先

修理・故障などのアフターサービスについてご不明な点はお買上げの販売店か、右記へお問い合わせください。

| （株）グリーンウッド お客さま相談室 | フリーダイヤル 0120-117-446<br>受付時間：月曜日～金曜日［AM9：00～PM5：00］<br>（土曜・日曜・祝日および当社休日を除く） |
|---|---|

株式会社グリーンウッド
本社　〒675-2462兵庫県加西市別所町395番地　☎0790(44)2817

2012年4月現在（所在地、電話番号などについては変更のある場合がありますので、その節はご容赦願います。）
1207：★★